

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2004-264292(P2004-264292A)
 【公開日】平成16年9月24日(2004.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報2004-037
 【出願番号】特願2004-11660(P2004-11660)
 【国際特許分類】

G 0 1 H 3/00 (2006.01)
G 1 0 L 11/00 (2006.01)
G 1 0 L 15/04 (2006.01)
G 1 0 L 15/10 (2006.01)
G 1 0 L 15/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 H 3/00 A
 G 1 0 L 7/04 C
 G 1 0 L 9/08 E
 G 1 0 L 3/00 5 1 5 C
 G 1 0 L 3/00 5 3 1 E
 G 1 0 L 3/00 5 3 1 F
 G 1 0 L 9/08 3 0 1 A
 G 1 0 L 3/00 5 3 1 N
 G 1 0 L 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月19日(2006.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音源からの音を收音して音響信号として取り込む收音部と、
 この取り込んだ音響信号から判別対象となる音部分の音響信号を複数個分切り出す音切り出し部と、

この切り出した複数個の音響信号どうしの波形の類似性を示す指標を演算する類似性演算部と、

この演算された波形の類似性指標について、予め発生原因が明らかな音源の発生原因別の各音響信号に関する波形の類似性指標に基づいて設定された判別用の閾値と比較して判別対象の音源の発生原因を判断する判断部とを有することを特徴とする音源判別装置。

【請求項2】

請求項1に記載の判別装置において、

前記類似性演算部で演算する波形の類似性指標として相関係数を使用する音源判別装置

。

【請求項3】

請求項1に記載の判別装置において、

前記類似性演算部で演算する波形の類似性指標として統計学上の空間距離を使用する音

源判別装置。

【請求項4】

請求項3に記載の判別装置において、
前記統計学上の空間距離がマハラノビスの距離である音源判別装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかに記載の判別装置において、
前記類似性演算部が音響信号の音圧変動特性または周波数変動特性に基づく類似性を演算する音源判別装置。

【請求項6】

音源からの音を收音して音響信号として取り込む收音工程と、
この取り込んだ音響信号から判別対象となる音部分の音響信号を複数個分切り出す音切り出し工程と、
この切り出した複数個の音響信号どうしの波形の類似性を示す指標を演算する類似性演算工程と、
この演算された波形の類似性指標について、予め発生原因が明らかな音源の発生原因別の各音響信号に関する波形の類似性指標に基づいて設定された判別用の閾値と比較して判別対象の音源の発生原因を判断する判断工程と
を有することを特徴とする音源判別方法。